

ここからはじめる ICT活用!

ICT活用のメリット

〈授業前の準備〉

- 掲示物が効率的に準備できます。
(簡単・みんなで共有・繰り返し使用)

〈授業中〉

- 迅速な拡大提示が可能になります。
- 効率的な板書ができます。
- 見せることで、指示が通りやすくなります。
- タイミングよく情報を提示することで思考を深めさせることができます。
- 繰り返し練習に活用することができます。



生まれた時間を活用して

- ◎ 児童生徒の表情や活動の様子をきめ細かく見取ることが可能になります。
- ◎ 児童生徒の練習や活動時間を確保しやすくなります。

研究協力校で行われた実践を、
四つのねらいに整理し、紹介します。

教材提示装置の活用

- 活用のねらい1…興味・関心を高める
- 活用のねらい2…課題をつかませる
- 活用のねらい3…分かりやすく説明する

フラッシュ型教材の活用

- 活用のねらい4…知識の定着を図る

教材提示装置の活用

活用のねらい1

興味・関心を高める

授業の導入場面などで、教科書や資料集等の挿絵、自分で撮影した1枚の写真、小さくて見えにくいものなどを大きく映し出すことで、教師が見せたい部分を焦点化して児童生徒に見せることができます。このことで、児童生徒のイメージをふくらませ、興味・関心を高めることができます。

歴史資料の読み取り
(小学校第6学年社会科)



教科書の挿絵を拡大表示して、何をしているところかを考えさせています。

メダカのたまごの育ちの観察
(小学校第5学年理科)



実際に育っているメダカの卵を拡大表示して、どのような特徴があるかを観察させています。

教材提示装置活用ワンポイントアドバイス

【事前準備では】

- ・コード類は適切に束ねて児童生徒が足を引っかけないよう、安全面の配慮をする必要があります。
- ・カーテンはできるだけ閉めて、画面への光の映り込みが少ない位置（両端の児童生徒が見える位置）にデジタルテレビを置きましょう。
- ・提示するものを教材提示装置の下の台のどこに置くのか、事前に確認して印をしておくともスムーズに活用できます。



【使用する場面では】

- ・ICT機器は授業の中の1場面で活用します。
- ・教師の視線がいつも児童生徒に向けられるよう、教材提示装置の設置の仕方に注意しましょう（児童生徒に背を向けて説明すると、児童生徒の表情が観察しにくくなります）。



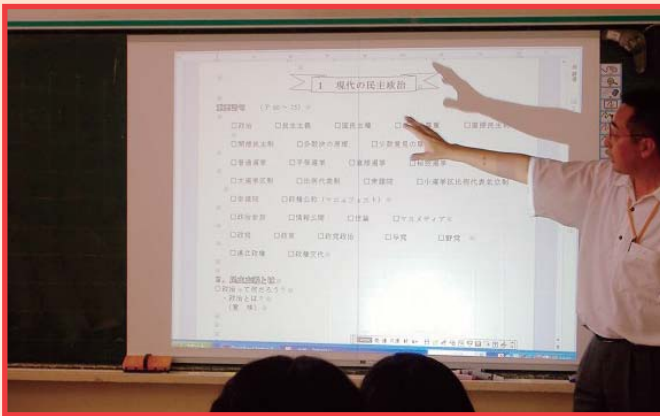
教材提示装置の活用

活用のねらい

課題をつかませる

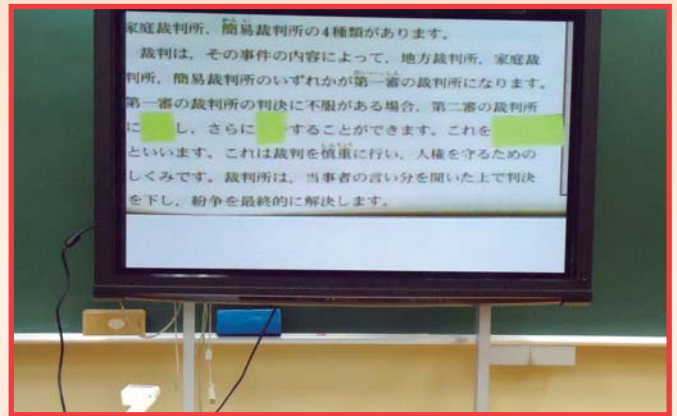
授業の導入場面や課題を再確認する場面などで、教科書やワークシート、児童生徒のノートなどを拡大して提示し、指し示したり書き込みをしたり、考えさせたいところを隠したりすることで、児童生徒全員の視線を集中させることができます。このことで、今自分たちが何を学習しているのかを意識させ、学習課題を容易につかませることができます。

現代の民主政治
(中学校第3学年社会科)



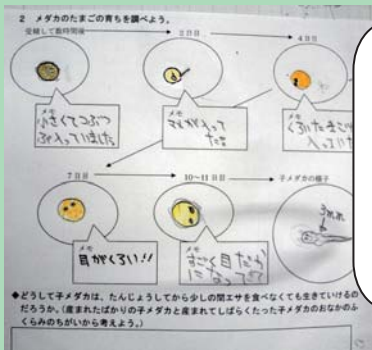
児童生徒と同じワークシートの一部を拡大表示しています。ホワイトボード型のスクリーンに映し出すと、書き込みもできます。

国の政治のしくみ
(中学校第3学年社会科)

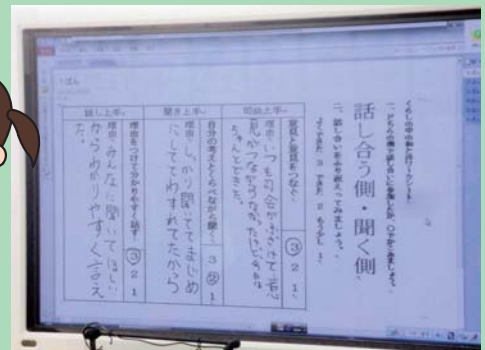


焦点化したい場所を付箋紙等で隠して表示しています。

児童生徒のノートや作品を教材提示装置で拡大表示すれば、**簡単、迅速に児童生徒全員がもの見方や考え方を共有化**することができます。



授業の流れを切らない迅速な提示が、児童生徒の思考を促します。



多様な考えに気付かせることができるだけでなく、自分の考えと比較検討させることで**思考を深めさせる**ことができます。

教材提示装置の活用

活用のねらい3

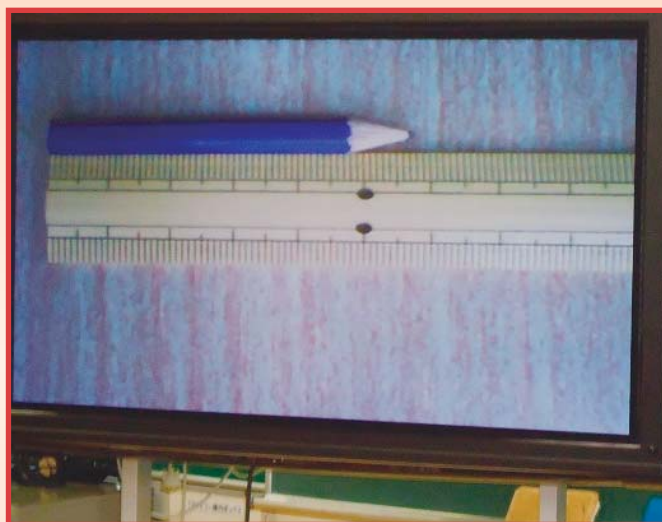
分かりやすく説明する

これまでのように、教卓の周りに児童生徒を集めなくても、着席した状態で、一人一人に手本となる動きやこれから行う活動の手順などを分かりやすく説明することができます。

毛筆・筆使い
(小学校国語科〈書写〉)



長さ(ものさしの使い方)
(小学校第2学年算数科)



活用時のポイント

- ・手順や使い方を確実に理解させるには、手元を大きく映して、ゆっくりと動きを見せながら説明します。



分度器、けん盤ハーモニカ、ミシン、アルコールランプ、メスシリンダー、玉結び・玉どめ等々、たくさんの道具の使い方や技能習得のための説明に活用できます。

教材提示装置を活用した先生方の感想

- ・教材を大きく映すことで、説明や指示を徹底しやすくなった。
- ・教材を大きく映すことで、児童生徒の視線が上がり、集中して考えるようになった。
- ・教材を大きく映して見せ方を工夫することで、興味・関心が高まった。
- ・使い始めると手放せなくなるくらい便利です。

知識の定着を図る

フラッシュ型教材とは？

英語でよく使う「フラッシュカード」のように、コンピュータのプレゼンテーションソフトなどを用いて、課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材のことです。簡単に作成することができます。

英単語の確認 (中学校外国語科)



フラッシュ型教材 作成時のポイント

- ・パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを使うと簡単に作成できます。
- ・問題は易しいものから難しいものに徐々にレベルアップします。
- ・背景はできるだけシンプルにして、大きく表示します。

フラッシュ型教材例

【漢字の部首】



丸で囲まれた部分の部首名を言いましょう。

【単位の変換】

$$1 \text{ mL} = \square \text{ cm}^3$$

□の中に入る数字を大きな声で言いましょう。



活用時のポイント

- ・短時間で繰り返し行います。
- ・ゲーム感覚でテンポよく行います。
- ・大きな声で答えさせます。

フラッシュ型教材を活用した先生方の感想

- ・短時間に集中して行うことで、児童生徒の**集中力が高まった**。
- ・毎日繰り返し行うことで、**知識の定着**に効果的だった。
- ・前時の**学習内容を想起**することに効果的だった。

さらにステップアップするには



電子黒板の活用

直接画面に書き込んだり、黒板に描くと時間のかかる図形等を、**電子ファイルとして記録**して、いつでも瞬時に繰り返し表示することができます。

デジタルコンテンツの活用



実物を直接観察できないものをデジタルコンテンツを活用し大きく映してみせることで、よりリアリティをもたせることとなり、児童生徒に驚きを与えるとともに理解を深めることができます。

デジタルカメラの活用



器械運動の技などをデジタルカメラで動画撮影し、一時停止やコマ送り機能を使ってゆっくりと見せることで、自分のつまずきの状況を容易に把握させることができます。

このパンフレットに掲載されている実践事例以外にも、たくさんの実践事例を教育センター内部Webページに掲載しています。こちら (<http://192.168.9.12>) も是非ご覧ください。

大学指導教官
広島市立大学教授 前田 香織

研究担当者
主任指導主事(事)主任 住吉 磨
指導主事 野上 真二

研究協力校／藤の木小学校 城山中学校
編集・発行／広島市教育センター
〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号
TEL:(082)223-3563 FAX:(082)223-3580
外部Webページ:<http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>
内部Webページ:<http://192.168.9.12/>